

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ長町南
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 14,495人（前年度比 118.5%） 内訳 ひろば利用者：13,258人、託児利用者：1,237人 ※視察等の利用者：468人 ・令和2年度 12,232人 ・令和元年度 58,678人
	《事業》 ・乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 24,847千円（25,489千円） ・その他市が負担した費用 0千円（0千円） 《収入》 ・使用料収入 2,708千円（2,005千円） ・その他収入 13千円（25千円）
	（ ）は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・意見箱の設置 ・イベント参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	・協定書に示す関係法令および条例等を遵守し、また、職員が条例に規定する施設の設置目的を理解し、施設の運営を行っている。 ・利用者アンケートの満足度が総じて高く、子育てを総合的に支援し、安心して子育てができるまちの実現に大きく貢献している。	21/21
II 施設の運営管理体制	・各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。 ・個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取り組みがなされている。	29/29
III 施設・設備の維持管理	・乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解したうえで、遊具等が破損していないか、利用者が快適に利用できるかなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。	19/19
IV サービスの質の向上	・イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や意見箱の設置により、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 ・職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	・子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供（ひろば事業）や一時預かり事業、子育てに関する情報収集・提供事業などを適切に実施している。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>昨年度同様休館で年度が始まったが、すぐに地域巡回の準備をして近隣の公園に出かけ、コロナ禍での過ごし方を聞いたり、持参したお土産付きの館だよりを配布した。また、商業施設共用の廊下に設置している情報コーナーに立ち寄った方には、積極的に声をかけ情報提供するなどして、休館していてもできる支援を継続した。幼稚園等がお休みの時は大きなお子さんの利用やご家族での利用も多くある為、大きなお子さん向けに「ポポちゃんデー」や指先を使うおもちゃを購入するなどして月齢に合った過ごし方ができるようにした。</p> <p>一時預かりは個別の配慮が必要なお子さんの利用について問い合わせが非常に多くあり、利用者支援の相談員と地域療育施設の相談員や区役所とも連携して情報共有しながら多くのお子さんの受け入れを行った。</p> <p>利用者のニーズに応えられるよう、職員主体のイベント回数を増やしたり、ゲリライベントを行うなどして、行事の充実にも力を入れた。クリスマスに行った演奏会は、昨年度大変好評だった弦楽四重奏の演奏が叶わず、それでも生の演奏を子どもたちに聞かせたいと、職員の繋がりでもリコーダー演奏会を開催できた。</p> <p>職員会議では、日々の業務の確認や共有の他に避難訓練や伝達研修を行った。様々な想定をして有事に備えた避難訓練は、訓練後の話し合いで問題点を出し合いブラッシュアップできている。内外の研修に参加した職員による伝達研修では、毎回様々な気づきを得て業務に反映している。今後も学びの場を常に共有して自己研鑽を積み、より良い支援に繋げ地域にも貢献していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、利用者が安心して快適に過ごせる環境づくりに努めていることに加え、アンケートや利用者懇談会、意見箱から利用者のニーズを把握し、新たなイベント（父親向けイベントや発達に特性のあるお子さんを対象としたイベントなど）の企画や運用の改善につなげることなどで、高い利用者満足度を得ている。</p> <p>一時預かり事業では、療育に通われているお子さんなど個別の配慮が必要なお子さんの利用希望の増加に対し、相談員（のびすく子育てコーディネーター）が区の家庭健康課、地域の療育施設と連携を密にし、情報共有しながら対応するなど、分け隔てなくお子さんを受け入れ、保護者の支援を継続している。</p> <p>また、不要になった未使用の育児用品などを必要な方につなぐ「はーとバンク」が利用者に着し、独自の取り組みとして好評を得ている。</p> <p>加えて、「太白区子育てネットワーク」の事務局を担い、区内の乳幼児親子の支援に取り組んでいるほか、「ホッとinとみざわ」に参画し、地域の子育て支援施設の連携を強化するなど、地域連携にも積極的に取り組んでいる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館時は、近隣の公園や商業施設に積極的に出向いてオンラインイベントや相談事業のチラシを配布し、子育て家庭に対する情報提供など、コロナ禍においてもできる支援を行った。また、感染状況に応じて、イベントの実施形態を対面からオンラインを切り替えるなど、臨機応変な対応により支援を継続した。年度末の地震による被害が大きかったが、館内の状況確認と対策の見直しを迅速に行い、適切な環境整備を行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課